

2007年10月17日

報道各位

新日鉱グループ

日鉱金属株式会社

バイオシグマ社における研究開発の強化について

日鉱金属株式会社（本店：東京都港区虎ノ門二丁目 社長：岡田昌徳）がチリ国営銅公社であるコデルコ社と共同で設立し、チリ共和国においてバイオ・マイニング（微生物を利用した鉱業技術）の研究開発を行っております BioSigma S.A.（以下「同社」という）は、2007年から2010年までの事業計画を決定し、約17百万米ドル（約18億円）を投じて研究開発を更に強化し、バイオ・リーチング技術（微生物を利用した鉱石からの金属浸出法。以下「同技術」という）の実用化の推進および基礎的研究開発の充実を図ることといたしました。

同社は、2002年7月に研究開発を開始し、2005年から2007年の間に2,500トン規模のパイロットプラントにおいて同技術の有効性を実証いたしました。続く2007年2月には、コデルコ社が所有するアンディーナ銅鉱山において、これまでの製錬技術では処理できなかった低品位硫化銅鉱石を対象に、同技術の5万トン規模での実証を目的とし、試験操業を開始しました。この結果、2007年5月には同技術を用いた電気銅を生産することに成功しております。今般決定した事業計画では、同技術の早期実用化のための開発を推進し、2010年末までに当社並びにコデルコ社が所有する銅鉱山等に対して同技術を商業的に適用する契約を締結することを目標としています。

また、基礎的研究開発では、これまでに得られた微生物学・ゲノム学・遺伝子工学分野等での成果を生かし、大学との共同研究等により、同技術をさらに充実・発展させる計画であります。

当社では、同社へ研究者を派遣し、同社における技術開発に積極的に取り組んでおります。今般の事業計画の推進にあたっては、コデルコ社とより一層連携して、同技術の実用化の実現に取り組むことにより、当社グループの銅事業の強化を期してまいります。

以上

【お問合せ先】

日鉱金属株式会社

総務部総務担当 河田、榑崎

電話番号 03-5573-7223

(ご参考)

バイオシグマ社の概要

1. 設立地：チリ共和国
2. 商号：BioSigma S.A.
3. 本店：チリ国サンチャゴ市
4. 代表者：Ricarldo Badilla Ohlbaum
(当社からは佐藤常務執行役員，後藤執行役員が取締役に就任)
5. 事業内容：微生物を利用した鉱業技術の開発

(バイオシグマ社における記者会見の様子：会見を行うCODELCO社アレジャーノ総裁)

